

料理と散策を楽しむ会（H 2 5． 1 1． 2 4）

今回は若干遠出をして、白洲次郎の終の棲家、小田急線「鶴川」駅近くの「武相荘（ぶあいそう）」を訪れました。

メンバーは太田（岡）、近藤（遠藤）、花田（小出）、小川、千葉、中村、水野、可知の 9 名。

午後 3 時に「鶴川」駅で待ち合せ、駅から 1 km 程の道のりでした。

ここは終戦前、昭和 15 年に、白洲次郎が日本の敗戦（東京の空襲）を見越して購入を決めたと言われています。

武蔵と相模の国の境にあることと、彼の洒落で不愛想とをかけて命名したとのこと。天気は絶好で、まさに晩秋たけなわ、紅葉がきれいでした。

入場料 1000 円、民間施設なので、シニア割引はなし。

おりしも 20 名くらいの団体客と一緒に、狭い邸内はかなり混雑しました。白洲家の遺品（生活道具、厨房家具、次郎の書斎、書架等）が各部屋に展示され、

晩年の隠遁生活の様子が偲ばれました。



武相荘見学後、小田急線で「小田急相模原」まで行き、「水車園」という和風レストランで食事となりました。

ここは、かのダイアナ妃が日本滞在時、近くの日産自動車の工場を見学された際、昼食に寄られたところです。

名前の印象に比べ、外観は比較的モダンですが、中はすべて個室、掘り炬燵で、落ち着いた料亭でした。

なぜか2階客室に上がった最初の広間全体に、鎧兜、刀身が陳列され、中には聞いたことのある、備前長船の刀身（室町時代一何でも鑑定団なら1000万円クラスか？）などもありました。

料理はしゃぶしゃぶのコースで、散策後の体にお酒が美味しく沁みました。

話題はいつもの通り、日々の過ごし方、健康、終活等々。

誰かが、適齢期を過ぎても中々結婚しない子を持つ母親の悩みをNHK、（ねえ、早く、結婚してよ）って言うんだ。と言ったら、子離れした母親のNHKは「ねえ、早く、コロリと逝ってよ」との混ぜ返し、・・・爆笑でした。

